

協会会員・役員・アドバイザリーボード(AD)並びに関係者の皆様へ

新年明けましておめでとうございます。

本年が皆様に実り多い良き年であることを祈念します。

本年は協会が公益法人になってから**11周年目**の年になります。
これもひとえに皆様方のご支援の賜物であると厚く御礼申し上げます。

さて、昨年のトランプ関税は、1980年代のレーガン戦略の焼き直し政策(自国第一主義)でまさに知財戦争ともいえるものでした。また、高市政権の誕生と共に日本株はうなぎのぼりで5万円を突破しましたが、日本株はそのPBRからしても安すぎの感がありました。

世界も人生も不可逆的に過ぎ去ります。現代は確実に『**見えざる資産である無形資産(情報)が価値を持つ時代**』であることに間違いはありません。米国巨大企業GAFAMは収益の8割をこれで稼いでいます。従って、**無形資産のマネジメントは現代人の基本教養であり**、これを法的保護が受けられるように知財登録して世界中にライセンスして収益化することが重要です。

協会は、昨年以下記③～⑦の新サービスと新研究を開始しました。本年は更に、下記①～②に取り組めます。会員様は①③～⑤を是非ご活用してください。

- ① クリック操作による知財登録(知財情報本体添付及びタイムスタンプ押印検証)
- ② 紺綬褒章対象団体への挑戦(規定額の協会寄付者に対して天皇陛下から叙勲)
- ③ 知財預かりサービス(知財バンク:IPB)
- ④ 知財追跡サービス(ニセモノ対策、知財コード商品流通追跡等:IPT)
- ⑤ 知財認証表示サービス(知財登録情報のスマホ等への表示:IPD)
- ⑥ AI(生成AIを含む)の知財応用研究
- ⑦ 文化知財(無形文化財含む)の知財保護活用研究

協会の知財登録サービスは上記も含めて、特許庁への出願知財(産業財産権)や公証役場への預け入れと比べて、世界中(WTO 加盟166ヶ国)で保護・活用可能な費用対効果の高い、『**世界最高の知財保護活用サービスと知財パラダイムシフト**』になるものと確信しています。

以上、会員様並びに関係者各位様におかれましては協会活動へのご理解を頂き今後とも益々のご支援ご協力をお願い申し上げます。

令和8年元旦



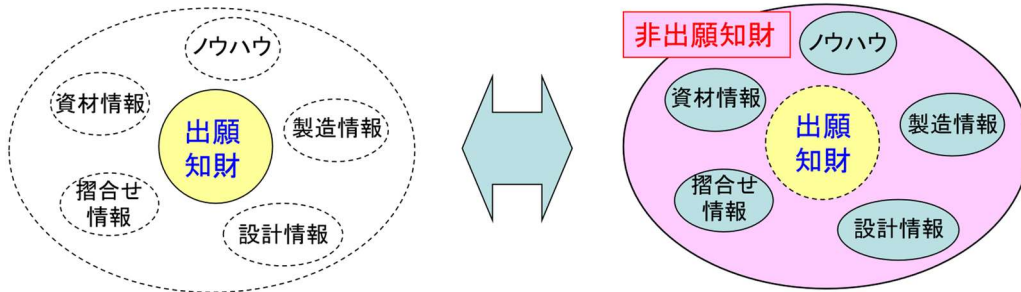
公益社団法人知財経営協会(SIR)会長兼理事長

玉井 誠一郎 敬白

(非出願知財は商品化の要)

© S.Tamai

非出願知財(守秘知財)は、商品力(品質・性能・コスト)を決定
～今日まで、特許などの出願知財のみが偏重されてきた～



特許などの出願知財情報だけでは
試作品レベルのものしか作れない

設計製造情報やノウハウなどの
守秘知財により初めて商品になる。
論文を出願知財にするとその周辺
に多くの有用な情報が存在する。

IBMの知財戦略

基本特許はデファクトにして普及させるため無償や低料率で公開し、
商品化に必要な周辺の非出願知財をライセンスすることで儲ける戦略

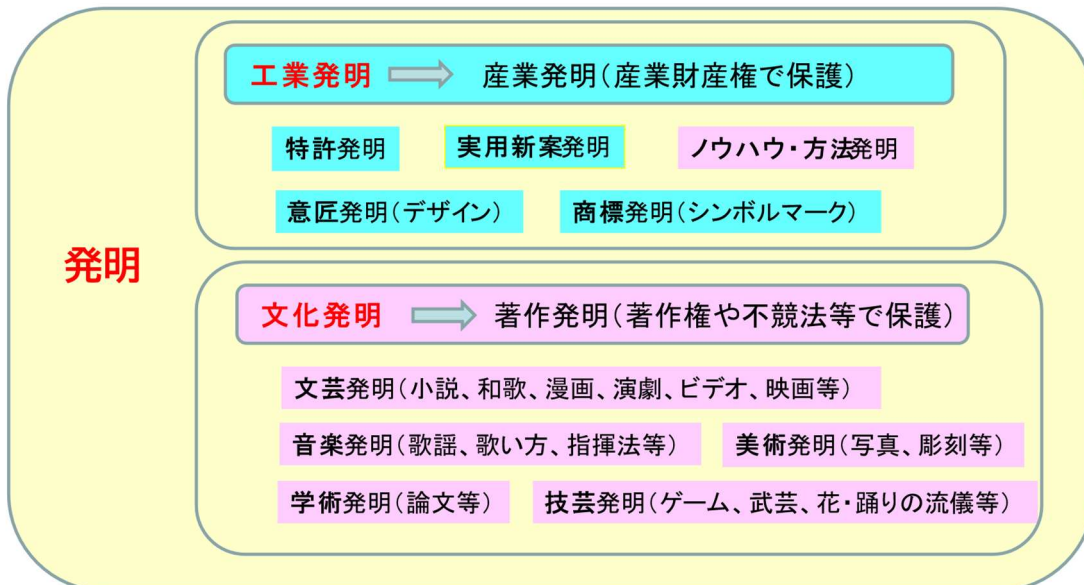
(工業発明と文化発明)

IPI & SIR2

© S.Tamai

発明とは(新規な創作物や方法)
～工業発明と文化発明がある～

■ : 産業財産権(出願知財)
■ : 登録知財(非出願知財)



協会はこれら文化発明の登録保護活用も推進しています